よくわかる公共事業

令和4年度

県道藤岡本庄線（藤岡工区）電線共同溝事業

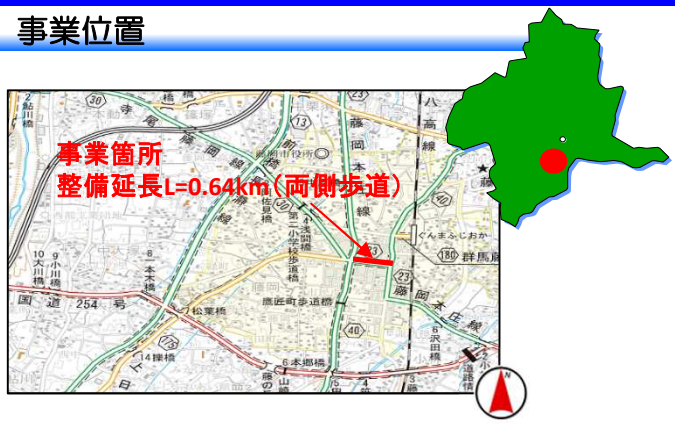
政策1　災害レジリエンスNo.1の実現

施策３：防災インフラの整備（中長期レジリエンス戦略）

事業概要

■所在地：藤岡市藤岡
■路線名：主要地方道　藤岡本庄線
■事業内容：全体計画延長　320m
　　管路整備延長　640m
■全体事業費：約４億円
■事業期間：平成26年度～令和4年度（９年間）
■現在の交通量(H27)：１０,７８８台/日（自動車）
　　：　６２人/12時間（歩行者）
　　：　１１０台/12時間（自転車）
■緊急輸送道路：第１次緊急輸送路
■重要物流道路：　ー

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・災害時にも機能する強靭な道路ネットワークを構築するため

電線を地中化し、電柱を撤去します

地元の声
・電柱が無くなれば、景観が良くなり商店街も活性化する。（沿線商店街）
・電柱が無くなることで、安全に歩道を歩けます。（藤岡市民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
電柱倒壊のおそれ	あり	なし

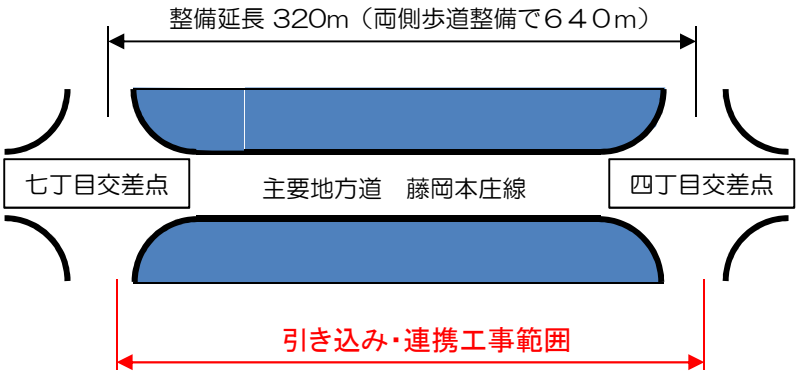
実施前

◆電柱があるため、災害時に電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがあります。

実施後

◆道路上の電柱が無くなり、災害時の安全な通行が確保されます。

事業の進捗状況（R4年３月現在）



今、何をしているか

令和４年度は、沿線の各店舗などへの引込み管の設置を行います。

事業のすすみ具合

事業開始 ●――――――――――●・・・・・・・・・・・・● 事業完了